

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ野外講座（県外）第4回		
タイトル	軽井沢 千ヶ滝と白糸の滝 信濃路自然歩道を歩く		
実施日時	平成30年10月26日（金）7:00~19:30		
実施場所	長野県 軽井沢町 千ヶ滝・白糸の滝		
受講者	41名	FIC会員	7名

活動の内容

雄大な浅間山の麓、軽井沢の自然と風土を感じながら、千ヶ滝せせらぎの道を歩きました。浅間山を望む峰の茶屋を經由、白糸の滝からは、ハルニシやミズナラの巨木の溪畔林や、黄葉の美しいカラマツ林の信濃自然歩道を歩きました。

西船橋を定刻に出発、軽井沢に向かいます。車中で資料「浅間山の成り立ち」「火山の大地と軽井沢の移り変わり」「軽井沢の植生」「千ヶ滝と白糸の滝」の予習をしてから、千ヶ滝に向けて歩き始めました。

一週間前の下見では、まだ紅葉があまり進んでおらず、若干不安でしたが、軽井沢町から千ヶ滝に登るに従い、カエデ・モミジの紅葉・黄葉が目立つようになりました。ミズナラやダンコウバイの黄葉も美しく、「秋山明浄にして粧うがごとし」と称される美しい季節を、実感することができました。

湯川源流千ヶ滝沢にかかる落差20mの滝は、軽井沢第一の滝、清涼な流れも心地よい「せせらぎの道」を散策したのち、溪流のそばで昼食をとりました。



千ヶ滝への道



白糸の滝

午後は、白糸の滝を見学した後、ハルニシやミズナラの巨木の多い溪流の道を散策しました。黄葉の始まったカラマツ林の道は北原白秋の「落葉松の詩」を思い浮かべながら歩きました。

花の季節は終わっていましたが、チョウセンゴミシの赤い実や、オヤマボクチの花が、辛うじて残っていました。

時々撮影タイムということで休憩。久しぶりに美しい紅葉が見られたとの声も聞かれました。浅間山の姿が眺められなかったのは残念でしたが、受講者のみなさまに、十分楽しんでいただけたのではと思っています。



チョウセンゴミシの赤い実



モミジの紅葉



カラマツ林